

刑 法 犯 の 概 況

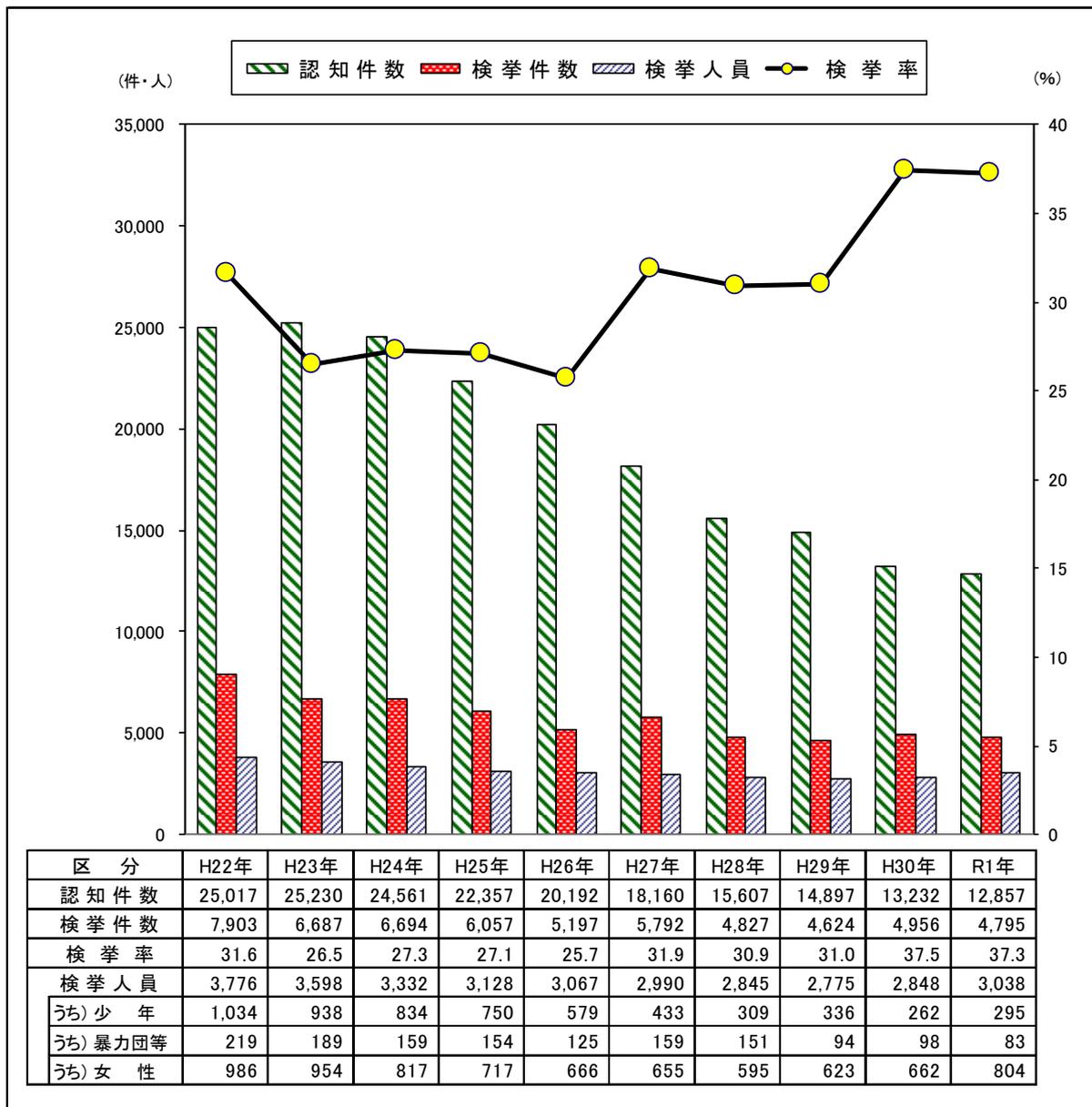
1 刑法犯

● 認知件数は8年連続減少

令和元年中の岐阜県下の刑法犯は、認知件数が12,857件、検挙件数が4,795件、検挙人員が3,038人、検挙率が37.3%でした。前年と比較すると、認知件数は375件(-2.8%)減少、検挙件数は161件(-3.2%)減少、検挙人員は190人(+6.7%)増加、検挙率は0.2ポイント下降となりました。

認知件数は8年連続で減少しました。

図-1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

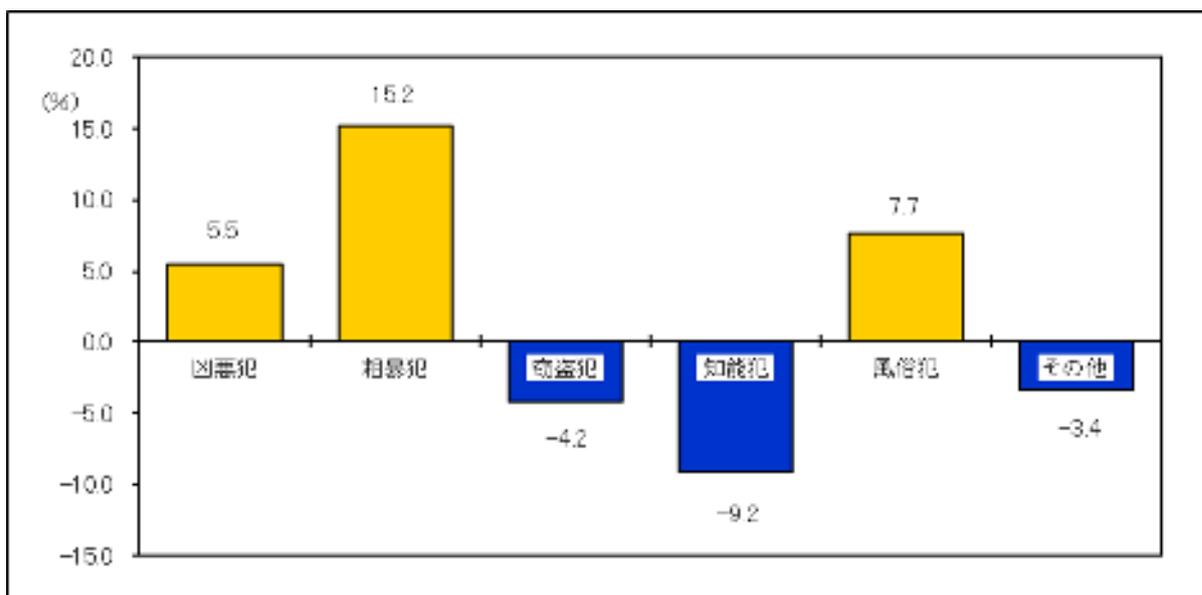


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が58件、粗暴犯が1,022件、窃盗犯が8,804件、知能犯が536件、風俗犯が98件、その他の刑法犯が2,339件でした。前年と比較すると、凶悪犯、粗暴犯、風俗犯は増加しましたが、窃盗犯、知能犯、その他の刑法犯はそれぞれ減少しました。

表-1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

包括罪種 区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	
令和元年	12,857	58	1,022	8,804	536	98	2,339	
構成比	100.0	0.5	7.9	68.5	4.2	0.8	18.2	
平成30年	13,232	55	887	9,188	590	91	2,421	
構成比	100.0	0.4	6.7	69.4	4.5	0.7	18.3	
増減	件数	-375	3	135	-384	-54	7	-82
	%	-2.8	5.5	15.2	-4.2	-9.2	7.7	-3.4

図-2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・凶悪犯 ————— 殺人、強盗、放火、強制性交等
- ・粗暴犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・窃盗犯 ————— 窃盗
- ・知能犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・風俗犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取誘拐等、器物損壊など上記に掲げるもの以外の罪

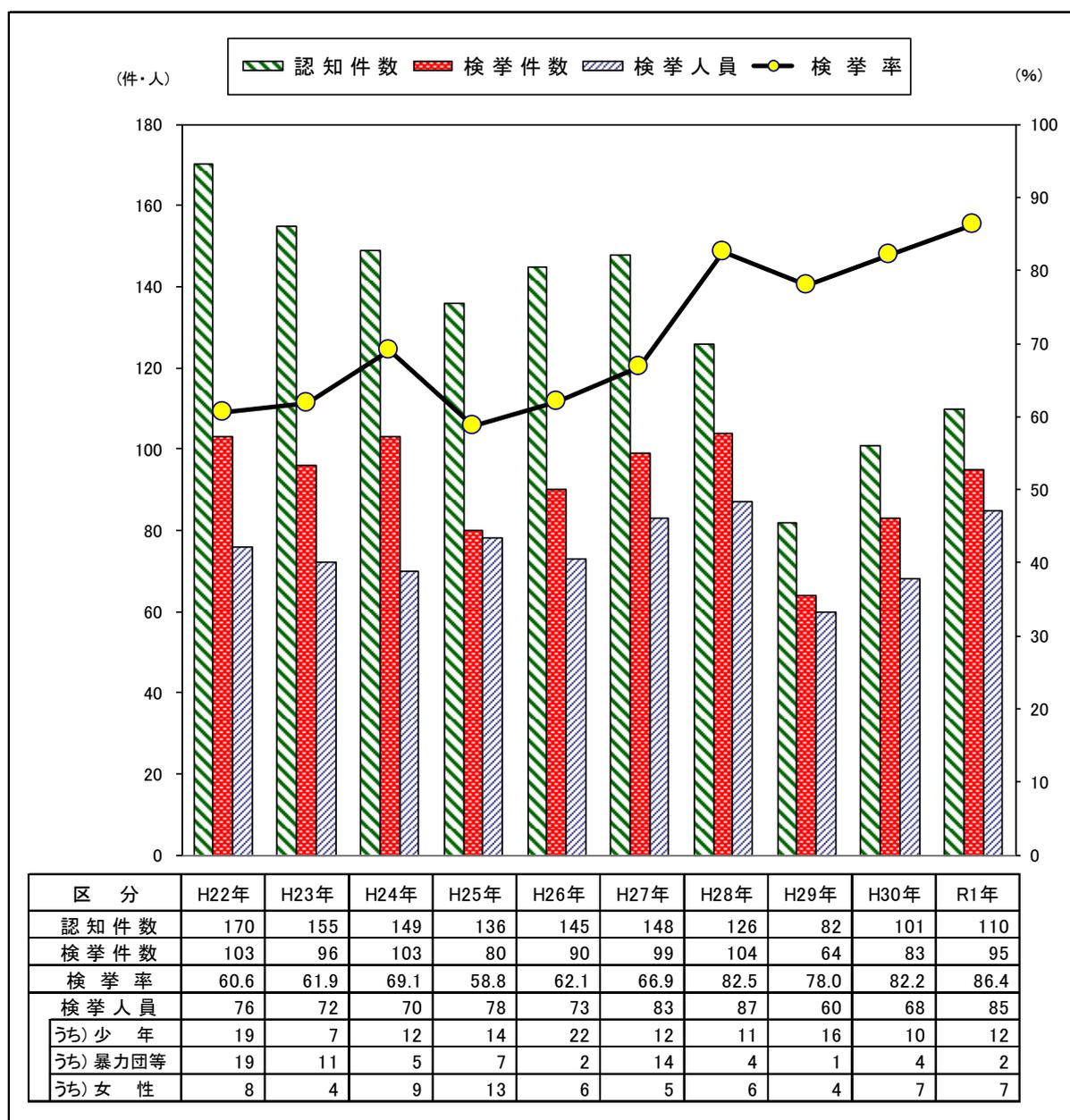
2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐等、強制わいせつ）

● 検挙率は80%前後で推移

令和元年中の岐阜県下の重要犯罪は、認知件数が110件、検挙件数が95件、検挙人員が85人、検挙率が86.4%でした。前年と比較すると、認知件数は9件（+8.9%）増加、検挙件数は12件（+14.5%）増加、検挙人員は17人（+25.0%）増加、検挙率は4.2ポイント上昇となりました。

検挙率は平成25年に60%を割り込みましたが、最近4年間は80%前後で推移しています。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

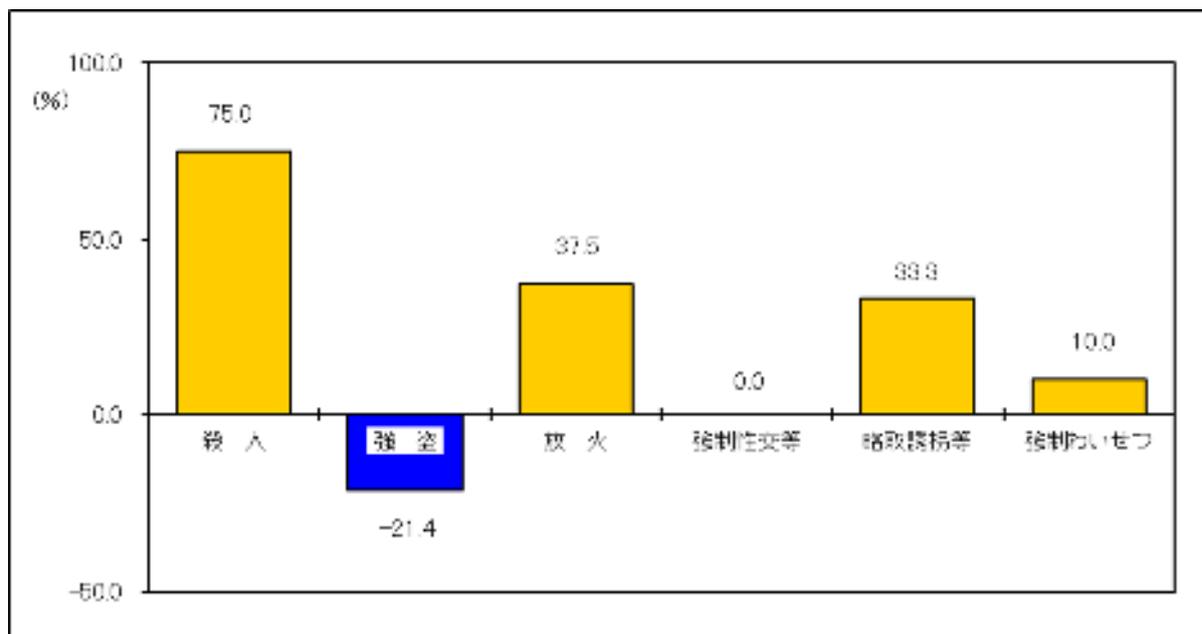


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が14件、強盗が22件、放火が11件、強制性交等が11件、略取誘拐等が8件、強制わいせつが44件でした。前年と比較すると、強盗は減少しましたが、殺人、放火、略取誘拐等、強制わいせつはそれぞれ増加しました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

罪種		総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取誘拐等	強制わいせつ
区分								
	令和元年	110	14	22	11	11	8	44
	平成30年	101	8	28	8	11	6	40
増減	件数	9	6	-6	3	0	2	4
	%	8.9	75.0	-21.4	37.5	0.0	33.3	10.0

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



※ 重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

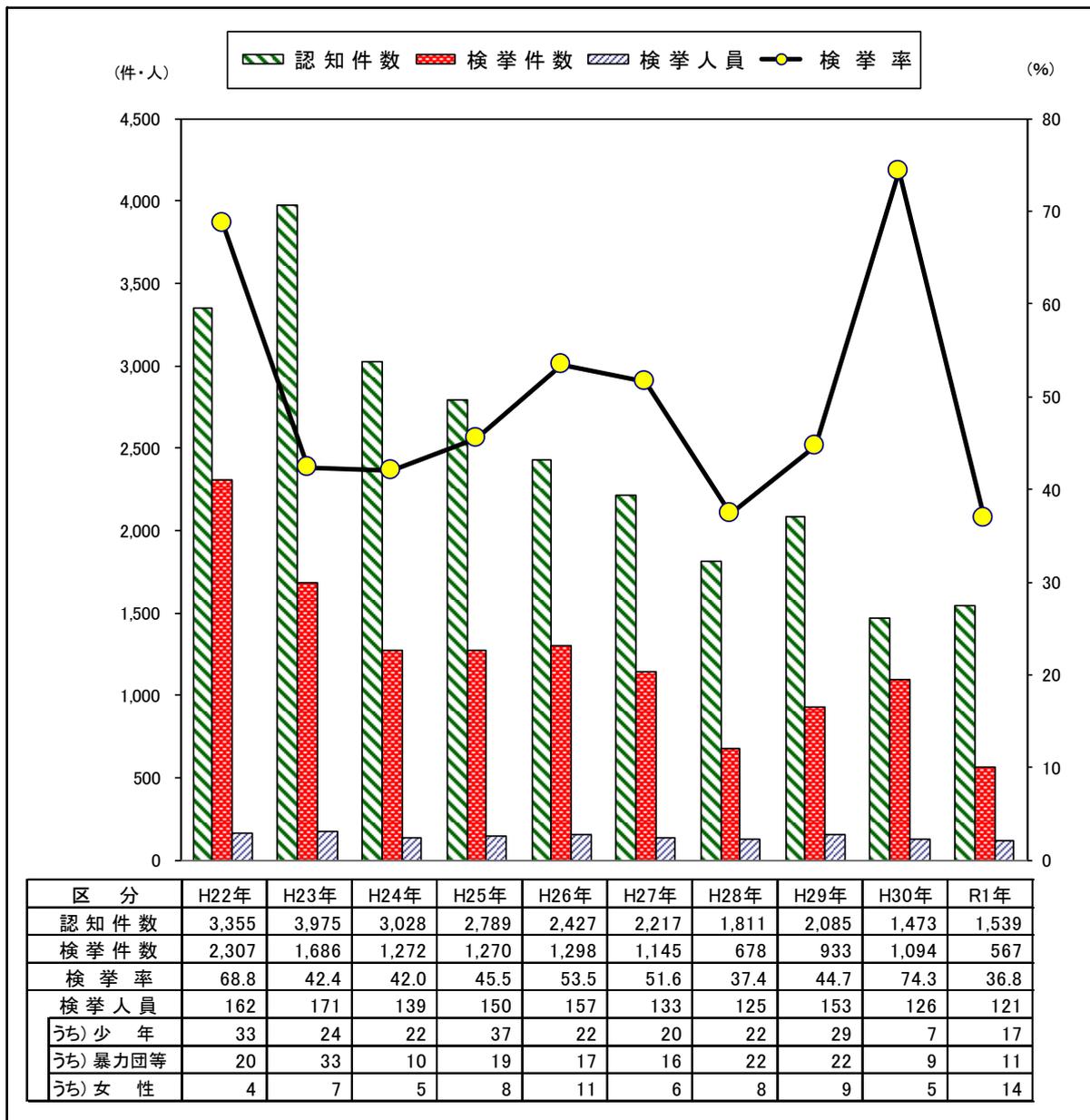
3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

● 検挙率は36.8%

令和元年中の岐阜県下の重要窃盗犯は、認知件数が1,539件、検挙件数が567件、検挙人員が121人で、検挙率が36.8%でした。前年と比較すると、認知件数は66件（+4.5%）増加、検挙件数は527件（-48.2%）減少、検挙人員は5人（-4.0%）減少、検挙率は37.5ポイント下降となりました。

認知件数はピーク時（平成15年：8,800件）に比べ、約6分の1に減少しました。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

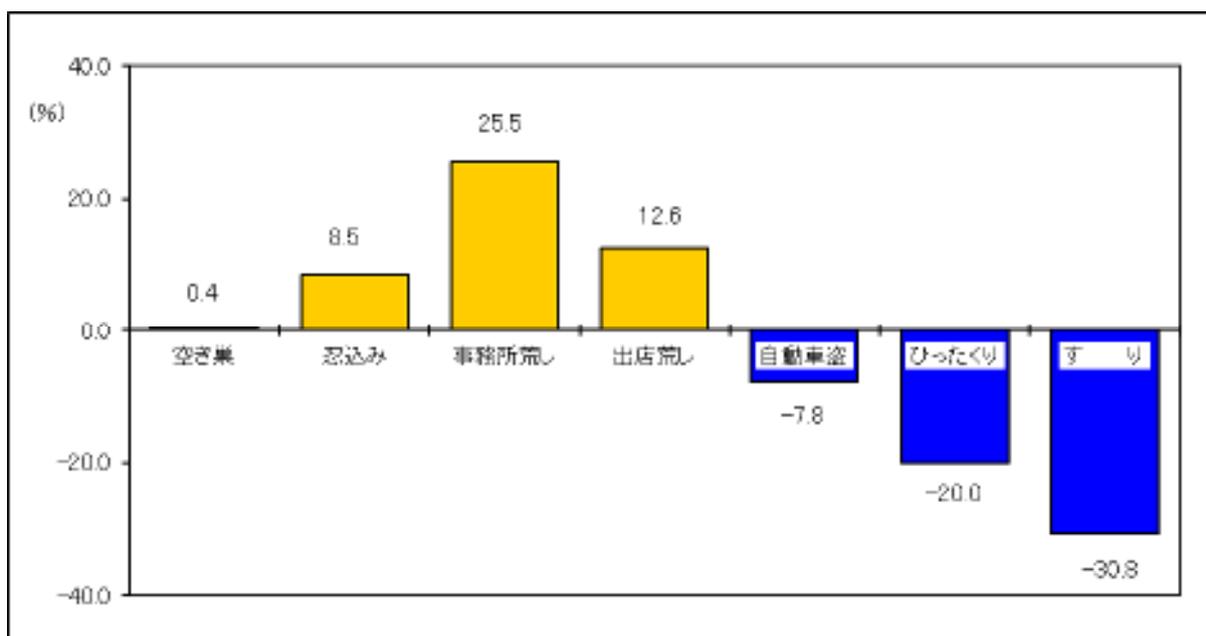


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が1,381件、自動車盗が141件、ひったくりが8件、すりが9件でした。前年と比較すると、侵入盗は増加しましたが、自動車盗、ひったくり、すりはそれぞれ減少しました。

表-3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗	うち)				自動車盗	ひったくり	すり
				空き巣	忍込み	事務所荒し	出店荒し			
令和元年		1,539	1,381	523	154	172	188	141	8	9
平成30年		1,473	1,297	521	142	137	167	153	10	13
増減	件数	66	84	2	12	35	21	-12	-2	-4
	%	4.5	6.5	0.4	8.5	25.5	12.6	-7.8	-20.0	-30.8

図-6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



※ 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。